

□ はじめに ★

人の死とはどのようなものか、これは人類普遍の問題であるとともに、きわめて神聖な問題です。科学が発達した今日であっても、そうした意識は何ら変わるところはありません。

平安時代以降、末法思想の影響で浄土信仰が隆盛し、死をめぐるさまざまな解釈が示されてきました。こうしたなかから、浄土教美術が全盛し、日本文化が開花したといっても過言ではないでしょう。

長野市にある善光寺は、全国的な霊場として中世以来の賑わいをたやすことなく現在まで受け継いでいます。こうした文化的な土壌にたつ善光寺平には、浄土信仰に関連した多くの文化財が現在に伝わっています。こうしたものは、わたしたちの祖先が浄土をどのように考えていたかを今に伝える好資料といえるでしょう。こうした、祖先のいのりに心を馳せていただければ幸いです。

開催にあたり、貴重な宝物をご出陳いただいたご所蔵者に対し、またご協力・ご教示を賜った関係各位に対し心からお礼申し上げます。

□ 例 言 ★

1. 本書は平成5年9月19日から10月17日まで開催した、長野市立博物館第33回特別展「浄土信仰の美～浄土へのあこがれ～」の展示図録です。
2. 本書の掲載順は、展示の陳列順序とはかならずしも一致しません。
3. 本特別展の開催にあたって資料のご提供、および、写真の提供・ご協力をいただいた方々は冊子末に記しました。掲載写真は、関係機関から多くをお借りしました。
4. 本展示の企画、および、本書の執筆・編集は、当館学芸員の原田和彦と、同専門員の小山丈夫が分担しておこないました。(本文は、1・3・4・6・7は原田が、2・5は小山が執筆)

□ 目 次 ★

図 版	1
図版解説	19
本 文 編	25
1. 古代における浄土信仰	
2. 浄土信仰の隆盛	
3. 山中浄土	
4. 海上浄土	
5. 生身如来のお膝元	
6. 祖師絵伝	
7. 聖教(しょうぎょう)	
エピローグ 現世と浄土	
展示資料目録	28
参考文献、ご指導・ご協力をいただいた方がた	29